

2021年4月～2021年9月の観光動向

- ・国内宿泊客数の対前年比 163.5%、国外宿泊客数は 346.0%と増加傾向であるものの、観光需要の推移は新型コロナウイルス感染症の感染状況に大きく依存するため今後とも注視が必要。
- ・町内の施設入込客数は対前年比 139.2%と増加傾向。入込客が多く、人気の高い河口湖南エリアよりも周辺エリアでの増加率が高く、町内の観光需要は分散傾向に。

●宿泊客数の動向

- ・2021年4月から9月の国内宿泊客数は対前年比で 163.5%と増加しました(表1)。この数値は、全国(137.5%)と比較すると増加割合が大きく、山梨県(164.6%)と同程度でした。月別にみると、5月(984.8%)の対前年比が大きく、9月(69.1%)は大幅に減少しました。4月から5月にかけての対前年比が大きい理由として、2020年の4月と5月は国内で初めて緊急事態宣言が発令された期間であり、首都圏を中心に人々の不要不急の外出自粛が要請されたことが挙げられます。一方、9月の対前年比が減少した理由としても同様、前年2020年6月からの移動自粛要請の緩和や7月から順次開始したGo Toトラベルキャンペーンで宿泊旅行が増加したのに対し、今年2021年夏季は一年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されたものの、新型コロナウイルス感染症の感染状況悪化により無観客での開催であったこと等、2021年9月の宿泊需要が伸びなかったことが考えられます。
- ・2021年4月から2021年9月の国外宿泊客数は5,556人で、対前年比346%でした(表2)。月別の宿泊者数をみると、4月(35.2%)と6月(52.2%)は前年よりも減少し、他の月においては対前年比で100%を超えました。7月以降は全国の対前年比は200%程で推移したのに対し、山梨県および当町ではそれを上回る傾向が示されています。このことは、県および町が東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に取り組んだ成果と考えられます。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった2019年以前と比べると、国外宿泊者数の絶対数は大きく落ち込んだままといえます。

表 1 国内延べ宿泊客数の増減

	対前年比 (2021/2020)		
	富士河口湖町	山梨県*	全国*
4月	610.3%	291.5%	233.8%
5月	984.8%	415.4%	264.3%
6月	275.1%	193.7%	137.6%
7月	197.2%	188.1%	136.6%
8月	119.6%	132.4%	117.2%
9月	69.1%	91.0%	85.7%
計	163.5%	164.6%	137.5%

*観光庁「宿泊旅行統計調査」

表 2 国外延べ宿泊客数

単位：人

	2020年	2021年	対前年比		
			富士河口湖町	山梨県*	全国*
4月	605	213	35.2%	38.2%	110.9%
5月	211	248	117.5%	90.1%	187.5%
6月	138	72	52.2%	159.6%	136.6%
7月	213	1,789	839.9%	641.8%	332.2%
8月	248	2,100	846.8%	1370.3%	268.3%
9月	191	1,134	593.7%	1232.3%	147.9%
計	1,606	5,556	346.0%	208.7%	203.6%

*観光庁「宿泊旅行統計調査」

●施設入込客の動向

- ・2021年4月から2021年9月の施設入込調査データを集計すると、延べ65.1万人の旅行者が富士河口湖町の観光施設を訪れていることがわかります(表3)。エリア別にみると、河口湖南エリアが18.4万人と最も多く、河口湖北エリア(17.5万人)、富士山エリア(16.0万人)が続きます。西湖エリアは8万9千人、精進湖・本栖湖エリアは4万2千人でした。
- ・エリア別の施設入込客数の対前年比でみると、どのエリアも増加傾向を示しました(表3)。2020年4月から5月にかけての緊急事態宣言に伴う外出自粛要請を踏まえれば、対前年比プラスという結果は整合しているといえます。エリア別では、河口湖北エリアの増加率が最も高く(154.9%)、西湖エリア(149.5%)が続きます。施設入込客数自体は河口湖南エリアが多いものの、その周辺エリアでの増加率の方が大きく、町内の観光需要は分散傾向であることが示唆されました。
- ・エリア別のシェアに着目すると、河口湖エリアの南北合わせて半数以上を占め、西湖エリアが15%程度、精進湖・本栖湖エリアは5%程度となっています(図1)。4月と5月は富士山エリアの入込が多く、6月と7月は河口湖北エリア、8月と9月は河口湖南エリアへの入込が多いという季節性が示されています。

表3 エリア別施設入込客数(延べ人数)

単位：千人

	河口湖北	河口湖南	富士山	西湖	精進湖・ 本栖湖	エリア計
4月	21.4	21.4	26.7	12.2	5.5	87.3
5月	26.9	27.8	35.2	20.6	8.3	118.7
6月	27.1	16.4	24.5	13.1	5.2	86.3
7月	39.3	34.8	30.1	14.9	9.1	128.3
8月	36.6	50.7	25.2	16.0	7.1	135.7
9月	23.7	33.1	18.9	12.3	7.0	95.0
2021年計	175.0	184.4	160.6	89.2	42.2	651.2
2020年計	113.0	138.2	123.0	59.6	34.0	467.9
対前年比	154.9%	133.4%	130.5%	149.5%	123.9%	139.2%

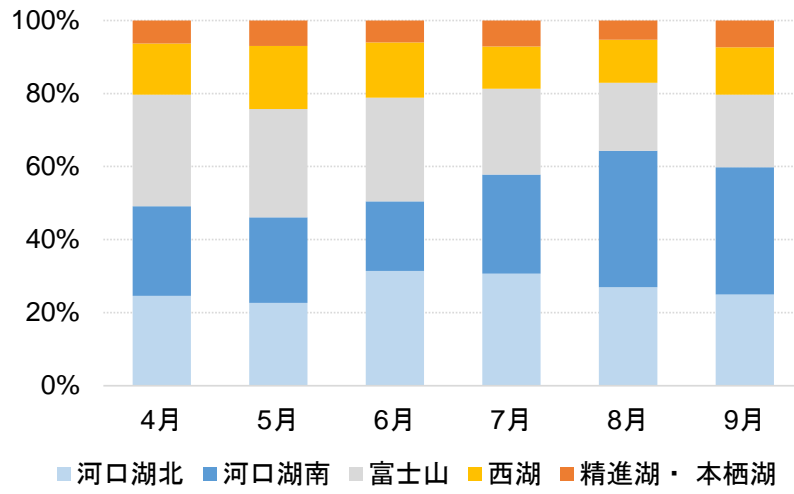


図1 エリア別施設入込客数（エリア別シェア）

各種統計の調査方法

○宿泊者数

- ・富士河口湖町観光連盟に加盟する 266 の宿泊施設を対象に実施された宿泊者統計調査の回答をもとに作成しています。対前年比が比較できる約 70 軒の施設を集計して数値を公表しております。

○施設入込客

- ・町内の主な観光施設の来客数を図 2 に示すエリアごとに集計したものです。エリア別の施設数は、河口湖北エリアが 10、河口湖南エリア 7、富士山エリア 6、西湖エリア 6、精進湖・本栖湖エリア 5 となっています。
- ・入込客数の計上方法は施設ごとに異なりますが、有料の施設であれば入場チケットの枚数、無料の施設であれば売店の売り上げから推計する等で集計しています。
- ・イベントの入込客数は別途集計していますが、エリア別の集計にはイベント来場者数は反映されていません。

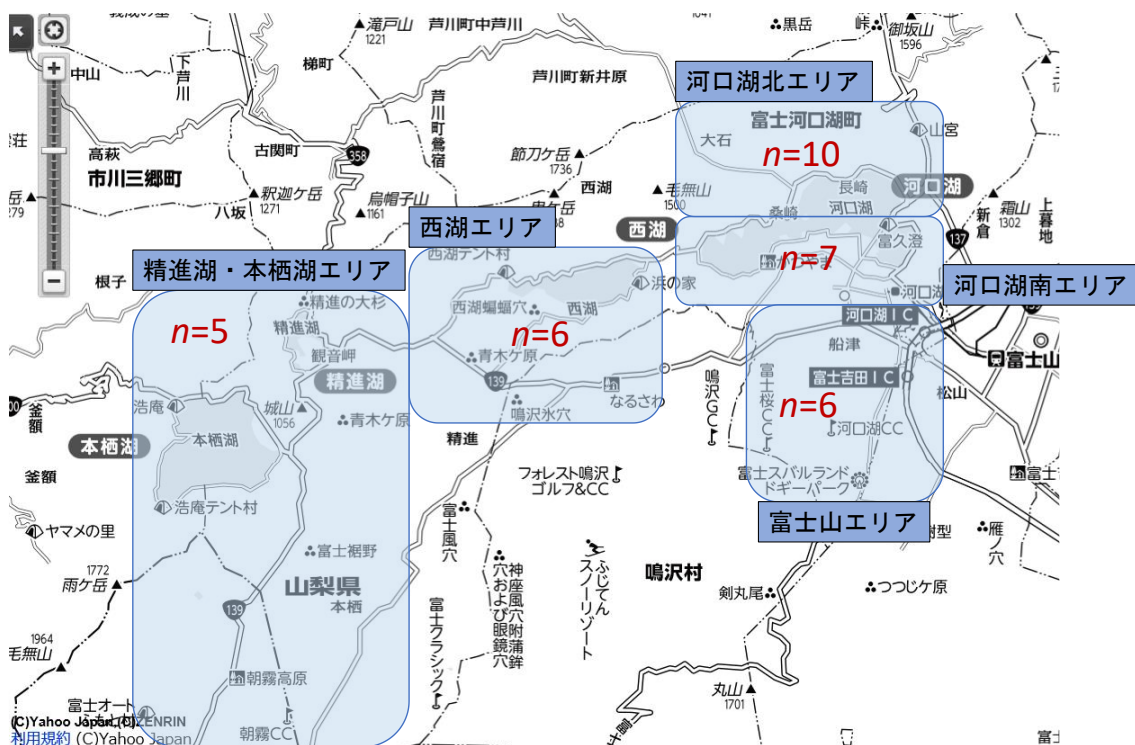


図 2 施設入込調査のエリア（各エリア内の n は調査対象施設数を表す）

○観光案内所統計調査

- ・河口湖駅に隣接する富士河口湖観光総合案内所において、来所者への案内中に国籍を直接尋ねることで、国籍別の来所者数を計上しています。新型コロナウイルス感染症の影響により外国人来訪者が急減しており、今号のトピックスでは案内所のデータ掲載を見送ります。